

生きたコミュニケーションで「話す」「聞く」力を伸ばす

ただコミュニケーションする場面を与えるのではなく、主体的に知識・技能を生かせるような協働的・対話的な活動を配置しています。

覚えるだけにならない、主体性を呼び起こす場面設定

自然で身近な内容をもとに、場面を設定しています。



自然な場面の中で必要な表現を使うように配慮しています。

児童がやり取りしたくなる活動で、英語で表現することが好きになるようにしています。

コミュニケーションしている実感を与えるための工夫

学んだ英語表現や語彙をやり取りの中で生かすことを大切にしています。



学級づくりになる活動

自分のことを表現したり、相手にたずねたりしてお互いを知る活動も豊富です。



学級づくりに生きる活動がたくさんあります。

さまざまな活動を通してのくり返し学習

ペアやグループでの協働的・対話的な活動を数多く設定し、児童同士が教え合い、学び合えます。



伝えたいことを表現する、生きたコミュニケーション活動が行えるように配慮しています。

「読む」「書く」の基礎を体系的に養う

「文字に慣れよう」では英語の「読む」「書く」を体系的に、
 繰り返し学習で着実に身に付けることができます。
 活動が細かく設定されているのでモジュール授業(P.18)にも最適です。

5年生 音と文字を結びつけるていねいな学習

6年生 「読める」「書ける」自信や達成感をもたせる

＊アルファベットを書く

アルファベットを一文字ずつ確認
 します。
 4線の幅は書きやすく、文字の形
 が区別しやすい比率にしました。

Lesson 1

1 アルファベットの大きい文字を書こう。

書き順は1つの例

大文字を4線に書き、文字の形をとらえさせます。

音と文字の関係をていねいに学びながら、学習を進めます。

＊単語を書き写す

活動で慣れ親しんだ単語を書き
 写します。

Lesson 5

1 先生が言うアルファベットの音ではじまるカードを選ぼう。

単語のはじめの音を意識することで音と文字をセットでとらえます。

＊単語を読む

5年生はそれまでに慣れ親しんだ
 単語を文字につなげられること
 がゴールです。

Lesson 8

1 絵と単語とを線で結ぼう。

単語を文字や音と結びつけ、総合的な語の理解を目指します。

＊文や文章を読んで意味を捉え、文を書き写す

文を読むことから始まります。まずは文を読んで意味を推測することに取り組み、体系的なレベルアップを図ります。

Lesson 5

3 書き方のルールに気をつけながら、文を書こう。

I like summer.

文の最初の文字は、大文字にしよう。

単語と単語の間は、少しあけよう。

文の終わりは、ピリオドをつけよう。

文の意味を推測し、英語のルールに沿って書き写します。

Lesson 6

3 「夏休みの思い出」を読んで、さしがしたことを()に書こう。

さとしは夏休みの宿題をしています。小さな生き物たちが夏休みの忘れ物を届けにきました。

1. What do you have?
 I have your hat.
 Satoshi, you ate a hot dog.

単文の次に、文章を読んでおおまかな意味をとらえます。

＊文を作って書いたり、文の意味を考えたりする

補助を段階的に減らしながら自分の力で文を書いたり、読むことに取り組みます。

Lesson 8

1. 1.では好きなスポーツを、2.では好きな国を選んで文を書こう。

I like tennis and soccer.

baseball swimming basketball skiing

慣れ親しんだ文と単語を選んで、自分の表現したい文を作り、書き写します。

Lesson 11

2 次の文を読んで、正しいと思ったら○を、まちがいだと思ったら×を()に書こう。

1. Dolphins can walk. ()

2. Frogs can jump. ()

3. Dogs can swim. ()

4. Butterflies can sing. ()

5. Penguins can fly. ()

6年生の最後には簡単な文ならば読んで意味がわかる力がつきます。